

第八十一回帝國議會
衆議院

石油專賣法案外二件委員會會議錄(速記)第十回

昭和十八年二月十六日(火曜日)午後一時十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 木暮武太夫君

理事川俣 清音君 理事中村庸一郎君

理事野田 武夫君 理事森川 仙太君

伊藤三樹三君

今尾 登君

安田 桑次君

小坂 武雄君

田嶋榮次郎君

東條 貞君

松村 光三君

林 正男君

本多 鋼治君

正木 清君

山口喜久一郎君

八木 元八君

川崎巳之太郎君

同日委員山本桑吉君辭任ニ付其ノ補闕トシ

テ川崎巳之太郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

商工大臣 岸 信介君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

交易營團法案(政府提出)

○本暮委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、交易營團法案ノ質疑ハ終了シマシタノデ、議題トナツテ居リマス交易營團法案ヲ取上ゲテ討論ニ付シマス、討論ハ通告順ニ依ツテ

之ヲ許シマス——野田武夫君

○野田(武)委員 私ハ交易營團法案ニ對シ、翼賛政治會ヲ代表致シマシテ、贊成ノ意見ヲ申述ベマス、交易營團設置ノ理由ニ付キ

マシテハ、既ニ政府ノ提案理由ニモアリマス如ク、戰時下物資動員計畫ノ一翼タル交易計畫ヲ圓滑強力ニ遂行スルガ爲メ、主トシテ交易企畫ノ調整ニ當ラシムルト共ニ、其ノ計畫實施ノ責任機關トシテ設立セントスルモノデアルト認メラレルノデアリマス

ガ、此ノ觀點ヨリ致シマシテ、種々論議ヲ重ネラレマシタガ、其ノ政府ノ意圖シテ居ラレル、即チ本法案ノ内容、其ノ運用方針、其ノ他今後ノ交易政策ニ付テハ、大體明カニスルコトガ出來タノデアリマス、併シナガラ交易營團設置ノ目的ニ鑑ミマスル時、差當リ政府ノ意圖スル所ハ、現在諸般ノ困難ナル事情ガ存在スルトハ申シナガラ、未ダ目的達成ニ即應スルニハ、不十分ナル點ナシトシナイノデアリマス、即チ營團ノ取扱物資ノ範圍ニ於テ、主要交易物資ガ相當多ク除外サレテ居ル點、更ニ取引ノ相手地域ノ如キモ徒ラニ制限セラレマシテ、綜合計畫上支障ヲ來ス點、多クアルト思ヒマス、其ノ他現地機構ノ如キモ、不備ノ點ガ認メラレルノデアリマスルガ、是等ニ付キマシテハ可及の速カニ、綜合統一の體制ヲ整ヘラレンコトヲ要望シテ已マナイノデアリマス

次ニ交易營團ノ大目的タル交易物資ノ價格調整ノ事業ニ付キマシテハ、爲替交易調整特別會計トノ關係ヲ明確ニ致サナケレバ、果シテ所期ノ目的ヲ達成シ得ルカ否カハ、俄カニ判斷ハ出來ナイノデアリマス、即チ兩者相重複シテ、敏速ナル活動ヲ期待シ得ナイノデハナイカト、危惧セラレルソデアリマス、此ノ點ニ關シマシテハ、政府ニ於テ交易營團ノ業務遂行ニ支障ヲ來サザルヤウ、爲替交易調整特別會計ノ運用ニ際シマシテハ、彈力性ヲ保持スルハ固ヨリ、此ノ結果ニ基キ、將來適應策ヲ考慮スル意味ノ答辯ガアリマシタノデ、一先ヅ之ヲ信賴シテ參リタイト思ヒマス、今ヤ決戰下交易ノ圓滑ナル遂行ノ確保ハ、即チ戰力増強ノ基本デアルト言フベキデアリマシテ、交易營團ヲ設立致シマシタ以上、之ヲ迅速且ツ強力ニ育成スル爲メ、諸般ノ交易施策ハ、營團ヲ中心トシテ簡素強力ニ處置セララルコト、特ニ營團育成上、最モ危惧セララル爲替交易調整特別會計トノ關係ヲ、適當ニ調整スルコトヲ切ニ要望致シマシテ、私ハ本法ノ原案ニ贊成スル者デアリマス

○本暮委員長 討論ハ終局致シマシタ一採決ニ入リマス、原案ニ贊成ノ諸君ノ御起立ヲ願ヒマス

○本暮委員長 起立議員——仍テ本案ハ原案ノ通り可決致シマシタ、次回ハ明十七日

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)

交易營團法案(政府提出)(第四九號)

帝國礦業開發株式會社法中改正法律案(政府提出)貴族院送付(第七九號)

重要礦物増産法中改正法律案(政府提出)貴族院送付(第八〇號)

午前十時ヨリ委員會ヲ開クコトニ致シマシテ、本日ハ是デ散會致シマス

午後一時二十分散會

第六類第十一號 石油專賣法案外二件委員會會議錄 第十回 昭和十八年二月十六日

七五

昭和十八年二月十九日印刷

昭和十八年二月十九日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局